

あわら 市議会だより



請願・陳情、意見書	2p
6月定例会報告意見書	3p
委員会報告	4p
一般質問	7p
議会トピックス	12p
議員倫理条例（抜粋）	13p
議会日誌・ふるさと探訪	14p



No.25

平成22年7月15日 発行

夏本番! 歓喜と水しぶきをあげて(新郷小学校)

6月定例会

平成22年度 一般会計補正予算

2億7,384万4千円を増額



現在、学校給食のあり方について議論されています。
自校方式、センター方式のいずれにしても、安全でおいしい給食を提供することが求められています。

(金津小学校)

- 一般会計予算総額は141億3,384万4千円
- あわら市議会議員政治倫理条例を制定!
- 上下水道の値上げに関する条例は継続審査に
- 人権擁護委員に北川賀文さん
- 議会推薦の農業委員に澤田明美さん、長谷川信枝さん、浅田 實さん、毛利純雄さんの4名を推薦!!

平成22年6月定例会が、6月7日から23日までの会期で開催されました。

今回は、平成22年度補正予算を中心に、条例の一部改正など、24議案を慎重に審議しました。その結果、上下水道の料金の改定に関する条例3議案は継続審査となり、その他21議案は全て原案どおり可決されました。

また、請願2件を不採択、陳情1件を採択し、その他、議員発議による意見書4件を可決しました。

なお、6名の議員が一般質問を行い、市政をたどしました。

請願2件を不採択、陳情1件を採択

意見書4件を提出

《請願第1号》

●選択的夫婦別姓導入など民法改正を求める意見書提出に関する請願書

請願者

新日本婦人の会福井県本部 辻 照子

紹介議員

山川 知一郎

「要旨」

夫婦別姓での婚姻が認められていないため、不利益・不都合を強いられている人が多数います。希望する人誰もを選択できるよう法改正を要望します。

結果

先の3月定例会で、反対する意見書を提出しているため不採択。

《請願第2号》

●日本軍「慰安婦」問題の解決をめざす法制定を求める意見書採択を求める請願書

請願者

新日本婦人の会福井県本部 辻 照子

紹介議員

山川 知一郎

「要旨」

政府が次世代への正しい歴史教育を行うとともに一日も早く問題の法的解決を行い、国際的責務を果たすことを強く求めます。

結果

国家間の外交問題であり、市議会にはなじみため不採択。

《陳情第1号》

●農業農村整備事業予算の確保を求める陳情書

陳情者

坂井北部土地改良区理事長 齋藤 恵治

「要旨」

事業予算が大幅に削減され、今後も予算削減が続くことになれば、現在進めている事業やその計画に支障をきたし、今後の農業政策に重大な影響を及ぼす恐れがあるため、国に対して十分な予算措置を講じるよう要望します。

結果

国家間の外交問題であり、市議会にはなじみため不採択。

●農業農村整備事業予算の確保を求める意見書

「要旨」

事業予算は、前年度比で6割を超える額が削減され、必要な整備の長期化や中止を招く恐れがあり、農業そのものが成り立たなくなると、農業農村整備事業の重要性を強く要請します。

「提出先」

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

●子ども手当の抜本的見直しを求める意見書

「要旨」

子や孫の世代にお金を借りて今の親を支援

●鳥獣被害防止総合対策事業予算の確保を求める意見書

「要旨」

近年、熊や猪などが農産物に甚大な被害を及ぼし、農家経営に大きな支障をきたしています。については安心して農業生産活動に取り組むことができるよう支援策を要望します。

「提出先」

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

●北陸新幹線の早期認可を求める意見書

「要旨」

市民の長年にわたる悲願である北陸新幹線の一日も早い認可・着工が実現されるよう、国に強く要望します。

「提出先」

衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

総務文教常任委員会 報告

一般会計補正予算

次郎丸区へ耐震性

貯水槽を設置

総務課所管では、次郎丸区へ防火水槽を設置することに関連して、地区からの要望がなくとも消防職員が巡回しなくても必要があると判断されれば、防火水槽を設置しなければいけないとの意見がありました。

デジタル放送

対応経費

文化学習課所管では、社会福祉センターと古町児童館へデジタル放送対応の経費が計上されているが、一般家庭の場合と比べて非常に経費が高いのではないかと問いがあり、工事の内訳は、アンテナやブースター、キャビ



あわらし役所

条例の改正

市職員の

育児休業等に関する条例

今回の改正は、国家公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、市職員の育児休業等に関する条件の見直しや、再度の育児休業等をとることができる条件を緩和するものです。

理事者からは、公務員の場合は、一般企業と比べて、育児休業について恵まれていることもあるので、市民の方から理解が得られるよう、職場での仕事ぶりや地域での活動もしっかりとやっていくとの回答がありました。

金津創作の森の

条例改正

金津創作の森の利用促進を図るため、高齢者及び障害者の観覧料の半額割引などを新設します。

委員からは、創作の森が一般市民にとって身近でなく、敷居が高いのではないかと問いがあり、理事者からは、10年後を見据えて、作家の出前講座などを行っており、今の子どもから広めていくよう努力しているとの回答がありました。

管内視察

5月14日に当委員会が所管する関連施設や工事現場などの視察研修を行いました。



芦原中学校北校舎耐震改修工事



金津中学校(渡り廊下)耐震改修工事

厚生経済常任委員会 報告

一般会計補正予算

不法投棄物回収、

処分業務委託

市民生活課所管では、緊急雇用創出事業で市が業者へ委託して不法投棄物を回収することは理解できるが、従来は地元での対応であった。地域をみんなで守っていくということが基本であるので、今後も地元の協力を得ながら進めるべきであるとの意見がありました。

保育カウンセラー

配置事業

子育て支援課所管では、臨床心理士1名を任命し、市内の各幼稚園、保育所を定期的に巡回して、保育士や保護者からの相談に対応するとのことでした。

旭団地第2棟

総合改修工事

建設課所管では、これまで実施してきた市営住宅の耐震改修工事も、今回変更したような補強を行えば、工事費は安く抑えることができたのではないかと、また、コスト削減に取り組む強い姿勢が必要だったのではないのかとの強い意見がありました。

明日の地域農業を

支える担い手

条件整備事業

農林水産課所管では、この事業で滝生産組合のコンバイン1台の購入費用と格納庫の設置費用へ補助金を支出するが、申請が高額なので、1万円以下の金額につ

条例の改正

上下水道の

料金値上げ

上下水道課所管では、料金を値上げすれば、上下水道料金の滞納分が、きちんと料金を支払っている人の負担増にもなるので、滞納と未接続の大きな問題を改善すべきである。

また、値上げについては、未だ市民に周知されず、十分に理解される状況になっていないとの意見がありました。これらに関する議案については、継続して審査することになりました。

鳥獣害防止

総合対策事業

当事業の本年度予算は、国の事業仕分けにより大幅な減額となった。地元では、高齢者世帯も多く、地元負担の増には対応できず、農産物などに被害が拡大する恐れもある。国に対して当初の計画どおり補助をするよう強く要望してほしい。また、市としても、減額されたことについては、何らかの措置をお願いしたいとの要望がありました。

管内視察

5月24日に当委員会が所管する関連施設や工事現場などの視察研修を行いました。



九頭竜川浄化センター



複合福祉施設(旧芦原庁舎)改修工事

市政について問う！

6月の定例会では、6名の議員により一般質問が行われました。
ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



吉田 太一 議員

- 児童の登下校の見守りシステムについて
- あわら湯のまち駅前多目的広場整備について
- えちぜん鉄道の今後の運営について

牧田 孝男 議員

- 郷土資料館併設の金津図書館整備について

山田 重喜 議員

- 石塚橋の架け替えについて
- 肺炎球菌ワクチン公費助成について

八木 秀雄 議員

- あわら温泉の課題対策について
- 芦原児童公園(旧芦原町営テニスコート)について
- 伝統芸能継承育成事業について

山川 知一郎 議員

- 自校式学校給食で食育の積極的推進を
- 農産物の低温被害の実態とその対策について
- 有害鳥獣害対策について

笹原 幸信 議員

- 教育問題について

一部事務組合より

※各一部事務組合所属の議員より報告のあった事項について掲載しています。

福井県後期高齢者医療広域連合議会

第1回定例会（於：福井県自治会館）
平成22年3月26日

- 平成21年度特別会計補正予算について
- 平成22年度一般会計予算について
- 平成22年度特別会計予算について
- 後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 後期高齢者医療制度臨時特例基金条例の一部改正について
- 職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

嶺北消防組合議会

第2回臨時会（於：春江総合支所議場）
平成22年5月31日

- 正副議長の選挙について
(※丸谷議長が副議長に就任)
- 監査委員の選任について
(※当市の高橋代表監査委員が就任されました。)
- 工事請負契約の締結について
- 平成22年度一般会計補正予算について
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

三国あわら斎苑組合議会

第2回臨時会（於：あわら市議会議場）
平成22年5月27日

- 副議長の選挙について

坂井地区環境衛生組合議会

第99回臨時会（於：同組合会議室）
平成22年6月2日

- 議長の選挙について
- 監査委員の選任について



春江町で開催された女性消火技術大会

吉田 太一 議員

児童見守りシステムの
本格導入へ
アンケート調査実施！

吉田 市内各小中学校の保護者を対象に独自でアンケート調査を行いました。全体で71%の方がこのシステムの利用を望んでいます。

中学校での利用に関しては、改良の余地はありますが、このシステムの本格導入を行うべきではないでしょうか。



下校する金津小学校1年生

牧田 孝男 議員

金津図書館を1階へ移設せよ！

牧田 現在の金津図書館は中央公民館の2階フロアーにあり、不便です。バリアフリー化のためにも1階へ下ろすことはできないでしょうか。また、1階へ整備する際には、併せて埋蔵文化財展示の郷土資料館併設型の図書館を整備してはどうでしょうか。



金津図書館

教育長 以前から、できるだけ多くの人が使いやすいように、1階に設置することが求められています。

しかし、1階と3階が中央公民館、2階が図書館という併設施設の中で、図書館を1階に移設することは、中央公民館としての機能や利便性を

確保するためにも困難です。

また、郷土資料館併設型の図書館整備については、現在の金津図書館では、スペースが手狭で、常設の展示場所を確保することは困難です。今後、公共施設の有効活用を図る中で、具体的な施策を検討します。

あわら湯のまち駅前
多目的広場整備の
進捗状況は？

吉田 3月以降の計画の進捗状況はどのようなになっていますか。

また、この整備の目玉はなんですか。

副市長 現在、基本計画に沿って、施設の配置や整備後の維持管理を含め、議会と協議をしているところです。

基本計画の中では、施設棟や藤野殿九郎記念館及び資料館のほか、足湯広場、水辺空間、植栽などを整備することになっています。

この広場を、新しいま



あわら湯のまち駅前多目的広場

ち歩き観光として、市民や来訪者、観光客の交流の拠点として整備したいと考えています。

なお、今後も、この広場の維持管理や利活用については、ワークシヨップのメンバーの方々を含めた市民の皆様の積極的な参加をお願いしたいと考えています。

福井鉄道―えちぜん鉄道
相互乗り入れへの対応は？

吉田 平成25年度に福井鉄道とえちぜん鉄道の直通運行を概ね承った県の方針について、市はどのように対応していくのですか。

市長 現状では、両鉄道による車両規格の違いから、相互乗り入れは不可能な状況です。

田原町駅から西長田駅までの10箇所の駅の改修工事が必要で、多額の事業費が今後の大きな

課題となっています。

現状では不明な点も多く、市としては、本事業の採算性や、沿線自治体への事業効果・費用負担、関係機関の動向などを見極め、適切に判断したいと思っています。



えちぜん鉄道

山田 重喜 議員

石塚橋の架替えを！

山田 この橋は、供用開始後42年が経過し、老朽化が激しく普通自動車もすれ違いができない状況です。また、金津中学校スクールバスの運行経路にもなっていることや昨年、市が造成した工業団地と将来的には国道8号をつなぐ重要な路線でもあります。

早急に実施計画などを策定するべきではないでしょうか。

市長 平成23年度に橋長15m以上の橋梁補修の優先順位を判断する

「橋梁長寿命化修繕計画」の策定を予定しています。将来の自動車交通量や市財政計画等を総合的に判断し、石塚橋架

石塚橋と
古屋石塚テクノパーク

替え時期を決定したいと思っています。

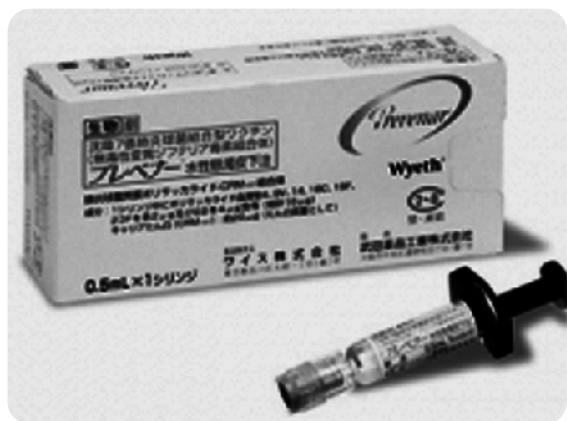
また、企業誘致を進める上でも、石塚橋の架替えは必要な事業であり適切に対応します。

ワクチン接種に助成を！

山田 肺炎は、日本人の死因の第4位となっています。また、その肺炎の原因は肺炎球菌が3分の1を占めています。全国で、201市区町村の自治体が公費助成を行っています。

また、医療費抑制の観点からも公費助成を行うべきと考えます。

市長 本市の高齢者に係る医療費が県内で最も高い状況であり、医療費の抑制が課題となっています。今後、この肺炎球菌ワクチンの予防接種が有効であるかどうかを含め検討します。



肺炎球菌ワクチン

八木 秀雄 議員

あわら温泉の
課題とその対策は？

八木 不況の中、あわら温泉の宿泊客が減少していますが、宿泊を増やすために、どのような対策を行っていますか。

また、あわら市観光ガイドに「楽しむ・食べる・泊まる」とありますが、これらは相互に機能していますか。



あわら温泉街

副市長 市としては、旅行ニーズの変化に的確に対応できる人材と組織の確保のため、あわら市観光協会に対し、事務所の設置、専門スタッフの雇用、第3種旅行業の登録などについて支援をしています。

「楽しむ・食べる・泊まる」の相互連携については、農業体験や産業観光などの新しい旅行プログラムの開発などにより、観光本来の目的である交流人口の拡大を目指し地域全体の活性化に向け、新生観光協会と連携し、取り組んでいきます。

芦原児童公園
(旧テニスコート)の活用は？

八木 現在、この施設は全く使用されず、老朽化した管理棟もあることから、市民の方から不安視する声も聞かれます。

今後、有効活用すべきではないでしょうか。



使用されなくなった芦原児童公園

土木部長 公園として都市計画決定されていること、県の指導もあることから、公園以外の施設への転用は、非常に困難です。

今後の活用計画については、整備内容や財源なども含めて検討します。

芦原温泉芸妓協同組合の
火災による事業の見直しは？

八木 芸妓さんを募集して育成する伝統芸能継承者育成事業の委託先である芦原温泉芸妓協同組合が火災により全焼しました。

募集にあたり、受け入れ体制が不備となり、応募者が入ってくるか非常に心配です。この事業を再検討する考えはありませんか。



再スタートした芸妓さんたち

市長 現在1名の採用が決定し、7月から芸妓を目指し、稽古を開始する予定になっています。伝統芸能は継承してこそ宝になると考えています。

芸妓組合と連携し、適切な事業の執行に取り組んでいきます。

山川 知一郎 議員

自校式の学校給食で
食育推進をはかれ！

山川 食育基本法の趣旨からすると学校給食は、センター方式よりも自校方式が望ましいと考えます。

今後の市の取り組みはどのようになっていますか。



金津小学校の給食時間

市長 本市の学校給食においては、基本法が制定される前から、栄養教諭によって、子ども達に食育の指導を行っているほか、積極的に地元食材を給食に取り入れたり、体験学習を通じた野菜栽培、調理実習などを実施したりしています。

学校給食は、自校方式やセンター方式などの

区別なく、食育の推進は可能であり、センター方式で統一したいと考えています。

保護者をはじめ、広く市民の皆様の理解を得たうえで、進めていきます。

農産物への低温被害の対策は？

山川 特産品の梨や柿をはじめとする多くの農産物に低温被害が発生しています。

被害の実態を調査し、国や県に対して対策を求めるべきと思います。



山室地区の柿畑

市長 果樹について、低温による被害が見られ、梨、柿については、収穫量に影響があると思われます。

関係機関が連携し、適切な営農指導に努めていくことが重要であり、今後の被害の状況によっては、被害農家の経営継続のための支援策などを県に対し働きかけます。

イノシシ肉の
食肉加工を検討せよ！

山川 イノシシ被害対策は農地への進入防止が主となっていますが、生息数を減らすことにも力を入れるべきではないでしょうか。

その為には、その肉を食肉加工して、流通させることが必要と考えます。



おりにかかったイノシシ

市長 イノシシによる被害額は、平成21年度では660万円となっています。

今年の国からの鳥獣被害防止総合対策交付金の内示額は、要望額の約7割減の630万円です。今年が事業の最終年度となることから、事業効果の面でも大きな影響があると思われます。

食肉として加工、流通させるためには、現在の捕獲頭数や施設の維持管理費等を見ると、採算面での課題が残りますが、新たな処理方法の一つとして調査・研究します。

あわら市議会議員政治倫理条例（抜粋）

平成22年6月8日
あわら市条例第10号

（目的）

第1条 この条例は、あわら市議会議員（以下「議員」という。）の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めることにより、議員の政治倫理の確立と向上を図り、もって市民に信頼される清潔で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。

（議員の責務）

第2条 議員は、市民全体の奉仕者として、自らの役割を深く自覚し、その人格と倫理の向上に努め、いやしくも自己の地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図ってはならない。

2 議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑をもたれたときには、その疑惑を解明し、責任を明らかにするように努めなければならない。

（政治倫理基準の遵守）

第3条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

- （1）市民全体の奉仕者として、その品位と名誉を損なう一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。
- （2）市が締結する売買、請負その他の契約又は市が特定の者に対して行う許可、認可その他の処分に関し、特定の者に有利になるような働きかけをしないこと。
- （3）常に人格と倫理の向上に努め、その地位を利用していかなる金品も授受しないこと。
- （4）市の職員（臨時的に任用された職員及び非常勤職員を含む。以下同じ。）の公正な職務執行を妨げ、その権限又は地位による影響力を不正に行使する働きかけをしないこと。
- （5）市の職員の採用、昇任その他人事異動に関し、推薦又は紹介をしないこと。

（請負等に関する遵守事項）

第4条 議員の配偶者、2親等以内の親族若しくは同居の親族が役員をしている企業その他の法人（以下「企業等」という。）又は次に掲げる企業等は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第92条の2の規定の趣旨を尊重し、市が発注する請負（下請負を含む。）、委託、物品納入等の契約を辞退しなければならない。

- （1）議員が資本金その他これに準ずるものの3分の1以上を出資している企業等
- （2）議員がその経営方針に関与している企業等
- （3）議員に報酬（顧問料等その名目を問わない。）を支払っている企業等

（調査の請求）

第5条 選挙権を有する市民（地方自治法第74条第5項に規定する選挙権を有する者をいう。）は、第3条の政治倫理基準に反する疑いがあると認められる議員があるときは、100人以上の連署をもって、その代表者から議長に対し、調査を請求することができる。

2 議員は、政治倫理基準に反する疑いがあると認められる議員があるときは、2人以上の議員の連署をもって、その代表者から議長に対し、調査を請求することができる。

3 前2項の規定による調査の請求（以下「調査請求」という。）をしようとする者は、調査請求書に政治倫理基準に反すると疑うに足る事実を証する書面を添えて議長に提出しなければならない。

笹原 幸信 議員

市費講師の賃金について
検討せよ！

笹原 今回の補正では、芦原中学校へ市費による講師派遣の経費が計上されていますが、教師の数が足りないのでしょうか。

ため、学習に影響を及ぼすと判断し、補正予算を計上しました。また、学習指導や部活動の充実のためにも、県教育委員会に対しては、教員数確保の要望をしています。

先生が減ったことで日頃の授業や部活動にも影響がでるのではないのでしょうか。

市費と県費では講師の賃金面で多少差がありますが、日々の業務内容が異なっています。

市費と県費では講師の賃金面で多少差がありますが、日々の業務内容が異なっています。

また、講師が教育に集中できるように、市として身分、所得の保証はできないのでしょうか。

市費と県費では講師の賃金面で多少差がありますが、日々の業務内容が異なっています。

教育長

今回の補正は、加配される教員が、県内各中学校で一律カットされたことや少人数学級を進める代わりに、県の定数基準が減らされたことが原因となり、芦原中学校の体育科教諭に不足が生じました。その



トピックス

第48回定例会の冒頭で、「全国市議会議長会表彰」の伝達式がありました。



在職20年特別表彰
杉田議員



在職10年表彰
東川議員

全国市議会議長会表彰

在職20年特別表彰 杉田 剛
（町議28年、市議6年）

在職10年表彰 東川 継央
（町議8年、市議6年）

なお、北信越市議会議長会からも同様の表彰を受けられました。

※町議時代の年数は1/2で計算されます。

去る5月26日に芦原温泉芸妓協同組合の検番が火災の被害に遭われたので、議員会より義援金をおくりました。

※現在は、活動が再開されています。

義援金を渡す北島副議長 ▶



議会日誌

4月16日 議会運営委員会

19日 全員協議会

30日 厚生経済常任委員会協議会

5月12日 総務文教常任委員会協議会

14日 総務文教常任委員会管内視察

17日 厚生経済常任委員会協議会

21日 中心市街地活性化調査

特別委員会

24日 厚生経済常任委員会管内視察

26日 厚生経済常任委員会協議会

31日 議会運営委員会

6月1日 全員協議会

7日 第48回議会定例会開会

14日 第48回議会定例会（一般質問）

15日 広報編集特別委員会

16日 総務文教常任委員会

17日 厚生経済常任委員会

22日 議会運営委員会

23日 全員協議会

29日 第48回議会定例会閉会

7月5日 広報編集特別委員会

※おもな会議のみ掲載

ふるさと探訪

「とも川の碑」

地元舟津地区では、昔からとも川を「とん川」と親しみを込めて呼んでいた。その川には、木造の「おふけ橋」が架かっており、近くの子ども達がよく遊んでいた。また、水道が完成する大正15年までは、旅館の仲居さん達が総出で浴衣などの洗濯に利用していた。

現在、三国競艇場があるところは椎の木谷という谷間があつて、以前はいつも水が湧き出て葦(よし)が茂った底なし沼になっていた。沼地は幅が70mから100mほどの大きなもので、大泓(おふけ)と呼ばれ、その周りには少しばかりの平地があり、池上の田が広がっていた。当然、それらの田は、大泓の水が頼りであつた。一方、大泓を水源としたとも川の水は舟津や堀江十楽の田を潤していた。

とも川をめぐるのは、池上と舟津は川上と川下の関係であつた。日照りが続くと上流の池上は、とも川の水を堰き止めるので下流の舟津や堀江十楽の田は水不足となる。また、逆に長雨がが続くと、池上はとも川に水を放流するので、舟津や堀江十楽の田は水浸しになって稲は育たない。水は農家にとって死活問題である。舟津と池上の用排水における抗争は、江戸時代以来、数十回にわたって繰り広げられ、明治以降も訴訟問題や流血事件が絶えず、昭和20年前半まで続いた。

(八木)



編集後記

NHK大河ドラマ「龍馬伝」を見ていますか？私は、小説家・司馬遼太郎の「竜馬がゆく」が大好きで何度も読み返しています。幕末の時代にこんなすごい事（薩長同盟・大政奉還）を考えていたのかと感心しつつ、私だったらどうしたのだろうか？と思いを巡らせて…。

そして今、私は何ができるのだらうと自分自身に問いかけてみると心高ぶるものがあります。市政においても龍馬のように柔軟に物事を考えて、私のモットーである一生懸命を貫いていこうと思います。

議員そして広報編集委員としてあつと言う間の1年間でした。これからも、「わかりやすい」「読みやすい」議会だよりづくりを目指していきます。

(杉本)

編集・発行責任者

議長 丸谷浩二

市議会広報編集特別委員会

委員長 北島登

副委員長 牧田孝一

委員 杉本隆洋

委員 吉田太一

委員 八木秀雄

委員 卯目ひろみ

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp